♥移住女子会

3

二〇二四年十一月

な形で移住希望者や相談会を開催しているのか、

今回は、

移住促進に関するフェアや移住者交流会、

方にも日田市の取り組みを是非お知らせください。

2024 **Vol.** 発行:日田市 商工労政課移住促進係

子供やスタッフを含む十八名が参加し とができました。 みながら、移住者同士交流を深めるこ 催されました。毎回好評なイベントで、 カフェビヨリでおいしいランチを楽し

りのきっかけになればと勇気を出して するかどうか迷ったけど、繋がりづく 参加した方もいました。また、「いろ 自己紹介の中で、この女子会に参加

ことを知りたい。」と会を楽しみにし ていた方が多く、参加後のアンケート いろな方とお話をしたかった。日田の 「皆さんとても親切で、日田に

では、

はどんな方が住んでいるのか、どんな

だきました。 持つ方と共感できて、 とができた。移住者同士、同じ悩みを 風に過ごしているのかを詳しく知るこ いんだ」と思えた。」とご感想をいた 「私だけじゃな

繋がりが続くことを願います。 が生まれていました。この会を機に、 交流会終盤は、皆さんの中に一体感

であることを勧めると、

ほとんどの

される方が多かったです。

方は「来てみたい」と前向きに検討

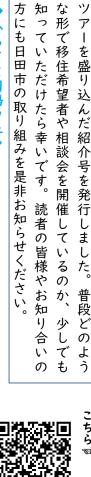


際フォーラムで行われた国内最大級 (日) の二日間にわたって、 九月二十一日(土)・二十二日 東京国

の移住相談イベント「ふるさと回帰

め の け、 ました。漠然と移住を考えている人 る人など様々でした。今回の相談者 大分県のどこかで移住を検討してい ていました。 のうち五組は日田市への移住を考え 日田市は日曜日のみ相談ブースを設 フェア2024」に参加してきました。 十五組二十九名が相談に来られ 「宿泊補助制度」 日田を知ってもらうた の利用が可能

こちら バックナンバーは



♥移住体験ツアーinまえつえ

に移住体験ツアーinまえつえ (NPO法人リ 十月十三日(日)・十四日(祝・月)

絶好の稲刈り日和でした。 験が行われました。 野さんご指導の下、 前津江町在住で元地域おこし協力隊の鹿 エラ受託事業)を開催しました。今回は 初日は好天に恵まれ 有機農業に触れる体 大分市と東京

結んで束にしたものを掛け干しする体験 穂がたわわに実った稲を鎌で刈り、 都からの参加者は、 地元の方たちと共に

れました。

美味しかったです。」と喜んでおら は「地元の方と交流でき、お料理も

をこなすにつれて慣れていったようで隼 参加者もぎこちない手つきでしたが、

をしました。

鎌を使った初めての作業に

中して作業していました。

ご飯は香ばしい香りで、ふっくらお 釜ご飯を炊きました。出来上がった でおいしくいただきました。 いしく炊き上がり、この後の交流会

に子供たちが火をつけて、新米の羽

その間、田んぼに持ってきた羽釜

料理」を頂きました。ツアー参加者 んが準備してくださった「おくんち 交流会では地元の「やませみ」さ などをお話しいただきました。 んからも牧場経営や農業の課題、

農業に従事してるので、この体験会に 子でした。お話をする中で、娘さんも 参加しているとのことで、手慣れた様 ターサイ、 続け、移住を前向きに考えたいとのこ 連れてきたかったとおっしゃってまし 参加者の方は普段から農業体験によく 体験では、 今後も鹿野さんとつながりを持ち からし菜を定植しました。 鹿野さんの畑に白菜、

とでした。

今ツアーは予定より少ない参加者と

なってしまいましたが、お一人お 流ができ充実したものになりまし 一人に寄り添った内容で体験&交

苗植えを体験しました。この日は以前

二日目は、手作り堆肥を土壌にした

から鹿野さんの有機農法に興味がある

移住希望者の方が参加しました。

まず、

平嶋牧場の堆肥工場を視察

た。



の販売も始めたとのことです。平嶋さ

を配合した循環型農業を目指し、

堆肥

ました。牛糞と菌床しいたけの廃菌床



